

■ “今の私の楽しみは…” 中村(石川)美智子さん〔1972年短大卒・彫刻班〕

私は20歳の頃から70歳の今まで、長くお茶のお稽古を続けています（途中子育て期間は中断していましたが）。その間、三人の素晴らしい師に巡り合い、その先生方から、茶道の基本から自分なりの身の丈に合った茶の湯の楽しみ方、さらには老後の遊び方までも学ぶことができました。このことが今の私の生活をより豊かなものにしていきます。

6年ほど前のことです。近所のお茶の先生から数々のお稽古道具を頂くという予想外の出来事があり、近所の和菓子屋さんのお嫁さんから「お茶を習いたい」との申し出があり、

「ならば、和室に炉を切り、お稽古を始めたら！」との夫の言葉に背中を押されその気になり…。それから夫の和室改装が始まり、必要な道具をネットで買い揃え、畳を替え、何と茶室が完成。元々茶室の造りではないのでいろいろ不都合なことはありますが、今では、四人の若い方と月2回お茶を楽しんでいます。心を込めてお茶を点て、ゆったり一服を味わうひととき。その中で、季節を感じ、心を通わせ、さらには日本の伝統文化に興味を持ってもらえたら…そんな思いでお稽古を続けています。そしてその日とお稽古場に行く日は私の貴重な脳トレタイムでもあり、日常から離れてお茶で遊ぶ大切な日になっています。

「日日は好日」辛い日も悲しい日もそれを「好(よ)き日」と受け取る心を持つ。このことを常に心に置きながら日々を過ごし、これからも茶の湯を楽しみたいと思っています。



日日は好日



席開きのお茶会

■ “北アルプス標高2600mでの仕事” 角田優斗さん〔2016年英米文学科卒〕

2016年に卒業し6年が経過しました。卒業後にホテル運営会社の星野リゾートに就職、長野県の国宝松本城にも近い浅間温泉に勤務し2019年に退職しました。現在は松本市を拠点としながら夏は北アルプスの2600m地点にある山小屋で働き、それ以外の季節は山岳観光地である上高地や美ヶ原高原など自然豊かな土地のホテルや旅館で働いています。猿や鹿やクマと隣り合わせの生活は学生時代の大会場渋谷・表参道での生活とは180度異なりますが、私にはどうしても前者のほうが性に合っているようです。

北アルプスの山小屋での仕事は、主に登山者に向けての宿泊場所、食事の提供、登山道の整備などで、期間中は下山することなく山中にて暮らしています。登山口から徒歩7時間、食糧や物資は2~3週間に一度のヘリコプターか、1日ばかりで下から背負い上げるかのどちらかです。コンビニはおろか隣の山小屋でさえ徒歩1時間以上かかる立地、下界の明かりも山中には届かず、消灯後の明かりは登山者のライトと月明かりのみです。

水は雪渓の雪解け水を引き、電力は発電機による自家発電、その燃料である軽油やプロパンガスはいずれもヘリコプターで上がってきます。携帯の電波も不安定なため15分ほど山を登って確認せねばならず、必然と社会の情報を目にする機会が減ります。

モノや情報が無いことは不便でもありますが、余計なことに心を捕らわれることなく1つのことに集中できます。とりわけ山では目の前の大自然を堪能することができます。

コロナを始め、心を騒がせるニュースも多い世の中ですが、時には自然の中で情報を遮断し、マスクを外して空気を思い切り吸い込む、皆様もぜひ北アルプスに限らず身近な里山や景勝地でそういった体験をしてみるのはいかがでしょうか？



<会員の連絡先調査と個人情報の取り扱いについて>

事務局ではお一人でも多くの古美研OB・OGの方々の連絡先調査を行っております。皆様のご協力をいただきたくよろしくお願いいたします。なお、皆様からお預かりした個人情報は整会及び古美研活動にのみ利用し、それ以外には一切利用しません。（個人情報管理責任者＝会長、個人情報管理者＝総務担当副会長）

■発行日：2022年9月20日 ■発行責任者：長谷川和芳(74年卒) ■広報担当副会長：亀村 通(78年卒)
 ■連絡先：<Eメール> ishيداتamikai@gmail.com <携帯電話> 亀村080-9556-7145 長谷川070-3824-2800
 ■ホームページ：http://ishيداتamikai.jimdo.com/ ホームページの「お問い合わせ」ページからもコンタクトできます。